

「映画 いしゃ先生」 撮影を終えて—

2014年秋、そして2015年の冬と2度に亘り山形県全域で撮影を行いました。

撮影を終えて最初に想った事は、お世話になった方々の事でした。

一人ひとりの事が頭をよぎり、その気持ちを書くと小説くらいの長さになるのではないかと思います。

それほど多くの方々に応援してもらい、出会った方それぞれとの思い出があり、感謝の気持ちでいっぱいです。

少しでもお名前や出来事を書くと、誰だれの事は書いていないというトラブルが起ころうなので自粛させていただきます。(笑)

本当は一人ひとりにお礼を言いたいのですが、この作品を応援して下さった皆様。

「ほんてん！ありがとさまです！！」

ちなみに、「ありがとさまです」。

この言葉、私の中では今作品のキャッチコピーでした。

毎日この言葉を胸に監督を務めていました。

「ありがとさまです」って凄く良い言葉だと思います。

山形の方々は何も感じないかもしれませんが、「ありがとう」に「様」が付いている。

「ありがとう」の最上級の気がして大好きな言葉になりました。

まさに、この作品にピッタリだと思います。

皆さまの応援がなければこの映画が制作されることはありませんでした。

本当に凄いことです。

皆さまの応援の元、完成した「映画 いしゃ先生」は「ほんてん！ありがとさまです！！」な作品だと思います。

私は監督として作品を手掛けましたが、この作品は応援して下さった皆さま一人ひとりの作品です。

「映画 いしゃ先生」いよいよこの秋、山形県先行上映で封切られます。

間もなく皆さまにお届けできることを心より嬉しく思います。

そして、山形から全国へ—世界へ—。

この「映画 いしゃ先生」を一人でも多くの方々に鑑賞してもらい、志田周子先生の生涯を通して僻地医療の問題を考えるきっかけになれば幸いです。

周子「貧しい人も、僻地にいても、すべての人々が安心して医療を受けられる日が一日でも早く来ますように、願ってやみません」

「映画 いしゃ先生」 監督 永江二郎